

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	挑戦をつづけ、日本に新たな景色を創りつづける
報告者	国際経営学部国際経営学科 1年 木藤 夢乃
調査日	2022年11月28日(月) 13:00～15:30
調査先	経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 総括補佐 荒井次郎様 復興支援推進グループ 参事官補佐 (兼) 内閣府 原子力被災者生活支援チーム 参事官補佐 高橋拓磨様
担当教員身分・氏名	教授 国松麻季
CVS(企画運営団体)担当	川名英介 益本藏磨 金子由依
授業科目/学部企画名	訪問調査「企業訪問」
参加学生数(学年)	1年生 27名、2年生 3名
調査趣旨・目的	組織の概要、担当していただいたお2人の歩まれたキャリアについて直接お話を聞くことで、経済産業省についてより深い理解を得る共に、事前勉強会で学んだ基礎知識を活かして質問し、各自の興味関心を深める。
調査結果	<p>荒井総括補佐、高橋参事官補佐よりお2人の学生時代の興味関心、入省してからのキャリアや業務内容、当時の思いなどについてそれぞれプレゼンテーションしていただいた。その後2グループに分かれて事前勉強の時に感じた疑問や学生からの質問に答えていただいた。</p> <p>前半のプレゼンテーションでは「福島復興」や「通商政策」、「自動車の開発基盤の強化」などの各事項について紹介していただいた。加えて、2、3年毎の人事異動による変化に対応する力を養うことや、ジェネラリストを育成することについても学ばせていただいた。そして、省内と特定企業のみならず、地域、国に至るまで幅広いネットワークの形成を行っていることなど、多くの点で私たち学生の好奇心を刺激していただいた。</p> <p>グループでの質疑応答では、「これからどのような人材と共に働いていきたいか」、「学生時代にやっておくべきことは何か」などの質問が学生側から出てきた。それに対する回答として、「自分の言葉で説明できる人と共に働きたい」、「学生時代は語学力の向上を目指すのがよい」など、今後の参考になるお答えをいただいた。その他にも、仕事をする上でお2人が大切にしていること、政策を作る際に意識していることなどについてもお話していただき、話題は多岐にわたった。</p> <p>担当して頂いたお2人は、去年に引き続き、お忙しい中プレゼンテーション用のスライドをご用意して下さいました。また、今後も質問等があれば遠慮なくお受けしたいとの</p>

有難いお申し出もいただいた。今回の訪問を通じて、お2人のように様々な視点から物事を見つめ、その本質を見抜ける人材を目指し、変化の激しい昨今のグローバル環境で活躍できる人材になっていきたいと強く感じた。他の参加者も行政機関に関するキャリアに興味を抱いたようで、訪問後に頂いた資料を熱心に読み込む姿が見受けられた。そして参加学生全体にとって、今回いただいた機会がこれからの進路や学習意欲への大きな刺激になっていると感じた。

前半プレゼンテーションではお2人のキャリアを教えていただきました。



後半では学生1人1人の質問に答えて下さいました。

このような貴重な機会を下さりありがとうございました。

